

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆大規模AI事業者を国が調査 問題事案に指導、政府の法案

・政府は2025年の通常国会に人工知能(AI)の研究開発や利活用に向けた法案を提出する。国が大規模なAIモデルの開発事業者を調査できる規定を設ける。AIの規模に関わらず悪質事案も調査対象とし、事業者には協力責務を課すと明記。技術革新が進むAIは人権侵害や安全保障上のリスクが指摘される。

◆25年度予算案、別枠予備費は5年ぶりゼロ コロナで膨張

・政府は2025年度予算案で、物価高対応や賃上げ促進などを目的とする予備費を計上しない方針。当初予算案で計上しないのは5年ぶり。新型コロナウイルスへの対応を機に数兆円規模に膨らんで批判されていた。予備費はもともと大規模災害などの緊急時に備えて計上。具体的な使い道は示さないで予算案に盛り込む。

◆24年の訪日客、過去最高に 1～11月累計で19年通年超す

・日本政府観光局(JNTO)が発表した11月の訪日客数は前年同月比30.6%増の318万7000人。1～11月の累計でみると3337万9900人で、過去最高だった2019年の年間合計3188万人を超え、記録を更新。大きく伸びたのが中国で、2.1倍増の54万6300人。台湾が21.0%増、米国が34.0%増、香港が13.3%増だった。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆首都圏マンション発売19%減 11月、4カ月ぶり値下がり

・不動産経済研究所が19日発表した11月の首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)の新築マンション発売戸数は、前年同月比19%減の2231戸。都内を中心に供給の抑制が影響。平均価格は3%減の7988万円で4カ月ぶりの下落。地域別の供給戸数をみると、東京23区が32%減で、神奈川県は52%減、千葉県は24%減。

◆ノーリツが熱活用の法人向け提案事業 排熱も無駄なく

・給湯器大手のノーリツは工場や農業、漁業の事業者向けに未利用熱の有効活用を支援する事業を2025年1月から本格的に始めると発表。ボイラーなどから出る排熱を回収したり、回収した熱の温度や熱量を調整したりするシステムを顧客ごとに構築して納品。30年12月期までに売上高で70億円規模の事業に育てる。

◆YKK AP、住宅・エクステリア商品、金属外装材など値上げ

・YKK APは住宅用商品・エクステリア商品・金属外装材の価格改定を実施すると発表。エクステリア商品(全般)と金属外装材(役物部材)は4月1日発注分から、住宅用商品とエクステリア商品(ルシアスバルコニー)は5月1日発注分から値上げを実施。値上げ幅は、住宅用商品が約3～10%、エクステリアが約4～15%など。

《 注目商品 》

■三協アルミ、太陽光パネル搭載可能なサイクルポート

・フラットなアルミ型材屋根のサイクルポート「FⅡ リンクロス」を発売。「太陽光パネル搭載部材」をオプションで設定。太陽光パネルや蓄電池を設置することで、電気の自家消費と災害時の電源確保が可能に。太陽光パネルと分離した構造のため、後付けで施工することができる。



■パナソニック、セパレート型コードレススティック掃除機

・業界初「マイクロミスト」機能搭載のパワーノズルを採用したセパレート型コードレススティック掃除機MC-NX810KMを発売。セパレート型の手軽さはそのままに、「マイクロミスト」を噴霧する新たな機能を搭載。床の窪みに潜んでいた細かなゴミを浮き上がらせる。



■河淳、狭小空間にワークスペースを確保できる壁面収納

・狭小空間にワークスペースや収納スペースがつけれる壁面収納家具「ストレージシェルフ」を発売。奥行き約30cmとコンパクトで、ポールのスリットや壁固定のネジが正面からは見えないデザインの「収納デスクユニット」「オープンクローゼットユニット」「TVユニット」など。

